

あなたも利用・協力してみませんか？

地域支えあい事業 (7ページ)

笑顔でサービスを提供する明石英夫さんと
利用会員の後藤ナヲ子さん

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2008.4.1 No. 26



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751

<http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005

✉ info@kama.syakyo.com

介護への思いや悩みを自分の中だけに閉じ込めないで



代表世話人
松尾 早苗さん

世話人
樋口かをるさん

聞かせて、教えて
あなたの思い

Voice ヴォイス No.7

社団法人
認知症の人と
家族の会
福岡県支部

高齢社会が進み、認知症の患者数も増加し続けています。厚生労働省老健局の資料によると、平成14年でおよそ150万人、平成25年には2倍以上の320万人にも上ると推計されています。

本会が毎月実施している在宅介護者の集いにも、認知症の方を介護する家族の方も参加されています。その中では、徘徊のことや近所との関係など、現在直面している問題や悩みや不安、介護を経験した人でしかわからないさまざまなことが語られています。

しかし、この集いに参加されている方はほんの一部の方でしかありません。市内にはまだ多くの方が不安や悩みを抱えながら介護をされている現状があります。また、自分や家族が認知症になったらどうしようかと不安に思っている人も少なくないのではないでしょうか。

「認知症になっても大丈夫だよ」と、住み慣れた場所で安心して暮らせるよう、家族が、地域ができることは……。

今回のVOICEでは「ほけても心は生きている」をスローガンに、1981年から認知症の人とその家族の生活を支える活動を行っている社団法人認知症の人と家族の会福岡県支部の代表世話人である松尾早苗さんにお話を伺いました。

支部の活動内容について
詳しく教えてください

認知症の方を介護する家族が集まって、悩みや課題を出しあい、より良い介護について一緒に考える、介護者のつ

どいの開催、電話や面接での

相談対応、月に1度の支部報

「たんぼぼ」の発行。この3

つが活動の大きな柱になって

います。その他にも介護中の

会員を対象とした日帰りのリ

フレッシュ旅行や、毎年9月

21日の世界アルツハイマーデーには、講演会や街頭でチラシを配るなどして、啓発活動にも取り組んでいます。

介護者のつどいは、毎月行っているものとは別に、若年期認知症の方の介護者、男性の介護者、介護専門職など、いくつかの対象に絞ったつどいも開催しています。介護専門職のつどいは、仕事として介護に携わっている方を対象としたもので、在宅で介護をしている家族の思いを知ることのできる貴重な機会になっているようです。

また、現在、介護保険制度改正を来年に控えて、会員へのアンケート調査を基に「提言・私たちが期待する介護保険」をまとめ、自治体や関係団体等に普及する活動も行っています。

どの方々が会の活動
に参加されているのですか

全国には43支部あり、全てあわせると1万人弱の会員がいます。

福岡県支部は1981年に発足して、27年目になります。現在、320名程度の会員がいます。認知症の人やその家族だけでなく、保健・医療・福祉にかかわる人や認知症に関心のある人など誰でも入会することができます。

実際に福岡県支部の活動を担っているのは、27名の世話人です。世話人の中には介護を続けながら参加している方や、以前介護をされていた方、介護の専門職の方などが、各つどいや会報作り、相談の対応などもそれぞれに割り振られた役割を分担して行っています。



月に一度の会報の作成、発送も全て世話人が行ないます。

松尾さんも認知症の家族を介護された経験をお持ちだと聞きましたか

私も認知症の母を10年以上介護し、2004年に看取りました。最初は認知症のことを何も知らずに介護していたのですが、ある時友人からこの会のことを教えてもらい、つどいがあったことを知り、つどいに参加したので「同じ思いを持っている人がいるんだ」「わかり合える人がいるんだ」と、とても力強く感じたことを今でも憶えています。



街頭での啓発活動の様子

私もそうでしたが、介護を始めたときというのは、ほとんどの方が認知症のこと自体も、サービスの利用方法なども充分にわからず、手探りの状態だと思えます。まず、どこに相談してよいかもわからない。「どうしてよいかわからない」という状況のまま、介護者が悩みや不安を抱え込んでしまうというケースは少なくありません。認知症かなと思ったときに、早期に受診すれば、症状の進行を抑えたり、中には改善される認知症もあるのですが、病院への受診が遅れた結果、病状の悪化につながることもあります。

認知症の方の生活を家族で、地域で支えていくために必要なことは

一番大事なのは、介護に携わる家族はもちろん、ひとりでも多くの方が認知症のことをまず知ることだと思います。周りの人たちが認知症のことを正しく理解して、みんなを支えていくことですね。

それに介護をマイナスだけでとらえてほしくはありません。もちろん介護は大変な部分がたくさんあります。だからといって、決して辛いだけではないんです。時には要介護者と思いが通じ合って、喜びを感じることもあります。介護を家族で担っていくうちに、いろいろなことを経験して、家族の絆が深まったという例もたくさんあります。ですから、介護に対する「マイナス」イメージは払拭していきたいですね。これから介護に携わるかもしれない人や現在介護を担っている人、またその本人に「大丈夫だよ」と勇気を持ってもらえる、希望を持ってもらえるかわかりが大切だと思います。

現在在宅で介護を続けている方へのメッセージをお願いします

よい介護を長く続けるためには、「一人でがんばりすぎないこと」が大切だと思います。介護者だけで、悩みや

問題を抱え込んでしまうと、良い介護はできませんし、長くも続かないと思います。介護の中で自分でないとダメな部分は自分が担って、それ以外の部分は、他人の手を借りたり、福祉サービスなどをうまく利用して、いつも心に少しのゆとりをもつことが重要なのではないのでしょうか。そう簡単なことではありませんが、プラス思考で「楽しみながらできる介護」を目指したいですね。

【認知症の介護相談】

電話と面接による相談を行っています。

日時 毎週火・木・金(11時～15時)

TEL 092-771-8595

(社)認知症の人と家族の会福岡県支部

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39
福岡市市民福祉プラザ 4階団体連絡室



おしゃべりサロン参加者で記念撮影



たくさんのお友達に 出会えたよ



おしゃべりサロン
立ち上げから1年が経過

おしゃべりサロンは、妊娠中の方や子育て中の方などが気軽に参加できる子育てサロンで、毎月第2木曜日に10時30分～正午まで嘉麻市碓井千歳会館にて開催しています。毎回10組前後の親子が集まり、絵本の読み聞かせをしたり、ママの手作りお弁当を食べながらおしゃべりをしたり、楽しく過ごしています。時にはそうめん流しやクリスマス会などいろいろなイベントも行っています。

3月のおしゃべりサロンでは、9組の親子が参加し、大好きなアンパンマンのミニシアター（映画会）を開催しました。子どもたちは真つ暗な会場に少し驚いていましたが、映画が始まるとアンパンマンマーチと一緒に歌い、嬉しそうでした。

参加している子どもたちの中には、4月から幼稚園・保育園に入園するお友達も数人います。せつかく仲良くなれたお友達とも会う機会が減り、子どもたちもちょっと寂しそうです。夏休みや冬休みなど、いつでも遊びにきてくれたらと思います。

参加者の越智なお実さんは、「お友達に誘われて参加するようになりました。他の子どもたちとの交流がと



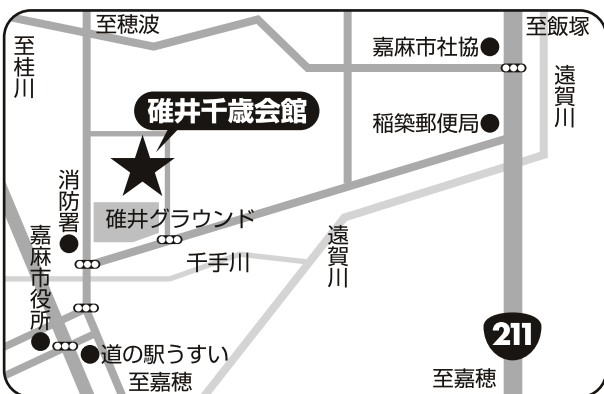
ボランティアの方もいきいき！

てもよい刺激になって、この頃お兄ちゃんらしくなったように思います。また、ボランティアの方も親のような存在で、泣く子をあやしてくれるなどとても感謝しています。4月から保育園に入園するけど、時間があるときは参加したいですね」と、サロンがとてもよい交流の場となったようです。

また、ボランティアとして、発足当初から参加している山元百合子さんは、「子どもたちと触れ合うのが大好きだから、このサロンがとても楽しみです。お母さん方から、離乳食や授乳に関する相談を受け、保健師や看護師の資格を活かしてアドバイ

スしたこともありました。自分が健康であるうちは協力したいし、今最高に幸せを感じています」と、サロンの中で一番いきいきしています。

子育てに関する悩みは様々あると思いますが、話をするだけで落ち着くものです。先輩ママからアドバイスをもらったり、新たな出会いがあったり、きつと楽しい時間が過ごせると思いますよ。4月からは毎月第2水曜日に開催いたしますので、皆さんも気軽に参加してみませんか？

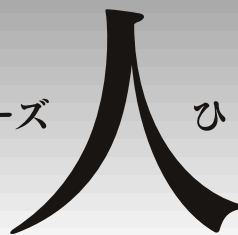


お問合せ先：嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751



Series Human No.11

シリーズ ひと



嘉麻市で今輝いている「人」を紹介します

自分にできることは
協力したい
それが、支えられている人への
恩返しになれば

ますだ まさとし
益田 政利 さん

五日町 54歳

益田さんは、嘉穂地区でのさまざまなボランティア活動や市民活動に参加されています。「頼られると断れないからね」と話す益田さんが、みなさんから頼られるその魅力を探りました。



地域の行事で大活躍の益田さん(左端)

「かほ夢運ウォークナイトハイク」「源流の森づくり」「嘉麻シティマラソン」など、嘉穂地区で行われている活動に、益田さんは積極的に参加しています。また、初日の出を見たいため馬見山に集まった登山者に、雑煮をふるまったり、近所の仲間と餅つきをして、隣近所に配ったりと、地域に根ざした活動を展開中です。

活動のきっかけは、友人から「ちよつと手が足りないから、手伝って」と源流の森づくりの植樹に誘われたことでした。「誘われると、断れなくてね。ついつい参加してしまわうんですよ」と、笑顔に人柄がにじみ出ています。活動を重ねていく中で、新たな興味や疑問が出れば、本やインターネット等で調べたり

そうで、ボランティア活動が生涯学習の機会になっていくようです。「毎日忙しいけれど、自分にできることは、協力したいのです。私もみなさんに支えてもらってますからね。恩返しになればと思っっています」とつながりを大切にされています。また、無類の動物好きとして有名な益田さんのもとには、知人や



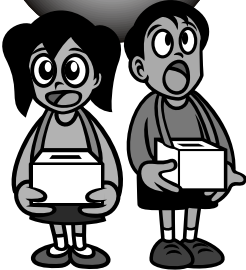
ケガしたスズメもすっかり元気に

近所の人や、ふくろうやウサギ、スズメ、ツバメのヒナなどケガをした動物を連れて来ます。かつて野生動物を育てる名人として、新聞やテレビで話題になったことがあるとか。「頼られるとついついほっとけなくて…」そう語る益田さんのやさしい眼差しに活動の原点を見つけた気がしました。益田さんのやさしい人柄と行動力が、人からも動物からも頼られる理由なのではないでしょうか。益田さんの恩返しは、まだまだ続きます。

かまボランティア市民活動センター情報

2008年4月

富山県高波災害 義援金募集



2月24日早朝、日本海沿岸部を襲った高波は、富山県各地に大きな被害をもたらしました。この高波で、県東部では床上浸水や家屋の倒壊などの被害が発生しました。

最も被害が大きかった入善町では、死者1名、床下浸水69棟、床上浸水40棟、全壊家屋5棟、半壊家屋6棟など、大きな被害が発生しました。また、現地には高波災害ボランティアセンターが設置され、多くのボランティアが復旧活動を行ないました。

災害救助法が適用されたことを受けて、富山県共同募金会では、災害義援金を募集することとなりましたので、本会では下記のとおり義援金を受け付けております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

- 募金箱設置場所／稲築住民センター、山田ふれあいハウス、碓井千歳会館
- 受付期間／4月25日(金)まで

福岡県身体障害者体育大会

応援ボランティア 募集!!



4月27日(日)に、博多の森陸上競技場やクロアパークプラザなどで開催される、第47回福岡県身体障害者体育大会において、本市から参加する選手やスタッフらに同行し、選手の競技への参加などをサポートしてくれるボランティアを募集します。

活動日 4月27日(日)
午前8時30分出発
午後6時帰着(予定)

募集人員 若干名

申込締切 4月22日(火)

※集合場所などの詳細については未定です。

申込み・お問合せ

かまボランティア・市民活動センター
☎42-0751

用具や
機器類の
購入限定!

みずほ教育福祉財団が、

「老後を豊かにするボランティア活動資金」

の助成事業を実施

助成の対象となるグループ……………

地域で、高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループで、①ボランティア数が10人から50人程度、②2年以上の活動実績があることが条件です。

※ただし、財団法人や社会福祉法人、NPO法人など法人格を有する団体は対象となりません。

例えば、家屋の修理活動、食事サービス、健康づくり、友愛訪問活動などに必要な、用具・機器類の購入に限定します。

助成金額およびグループ……………

1グループにつき10万円を限度とし、150グループ程度に助成予定。

問合せ先

(財)みずほ教育福祉財団 福祉事業部

☎03-3596-4532

・申請書は財団のホームページからダウンロードできます。

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

締切:平成20年5月31日 必着

ボランティアグループ情報

「ありがとう」の一言に思わず笑顔!

福岡県いやしのケア赤十字奉仕団「なごみ」

県内を中心に、福祉施設や病院で活動をしている福岡県いやしのケア赤十字奉仕団は、「人間の尊厳を大切にしながら緊張とストレスの軽減」を目的に、ハンドケアや首、肩、背中をなでたり、さすったりと、手のひらから伝わる心の温もりを通して、コミュニケーションを図っています。

嘉麻赤十字病院では、毎月第2水曜日14時～16時まで実施しています。この活動に参加してくれるボランティアを募集しています。関心のある方は下記までご連絡下さい。

●連絡先 嘉麻赤十字病院担当 黒川 朝子 ☎52-1246



「困ったときはお互いさま」で広がる新たな —地域支えあい事業情報—

「3月中旬に夫の一周忌の法要があるので、それまでに庭の草取りをして欲しいのですが…」という相談があり、3月11日に地域支えあい事業でサービスを提供しました。

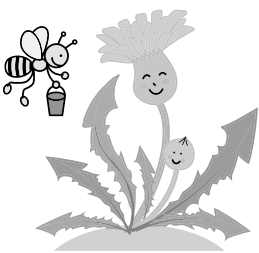


「うわあ、こんなにきれいになって、本当に助かりました。これで、お客さんが来ても縁側のふすまを開けられますね」と、利用会員の後藤ナヲ子さんはうれしそうに庭を見渡します。今回お願いした協会の明石英夫さんは、稲築公園の花壇整備のボランティアもされているので、軽快な「鎌さばき」で、あつという間に草がなくなっていきました。

サービス利用当日の3月11日は、小鳥が春の空をうれしそうに飛び回る、とても穏やかな天気でした。明石さんは、ツツジの落ち葉もきれいに片付け、3時間でサービスを終えました。

「少しはきれいになったでしょうか?」と、謙遜する明石さん。後藤さんは、「もう草が生えないような気がします」と、冗談で応じ、笑顔がこぼれます。

「困ったときはお互いさま」の気持ちで、また新たな「輪」ができましたね。



- 車庫の帆が破れたので張り替えを手伝って欲しい。ひとりではどうしてもできなくて…。
- もう3年もエアコンの掃除をしていません。どなたか手伝ってくれませんか?

他にも、このような相談が寄せられ、実際にサービスを提供させていただきました。地域支えあい事業は、高齢者や障がいのある方の、日常生活での「ちょっとした困りごと」を、会員同士の「お互いさま」という助け合いの気持ちで解決していく有償のサービスです。本会では、サービスを利用したい方、協力していただける方を募集しています。「困ったときはお互いさま」という、支えあい・助け合いの輪を広げていきましょう。



法人運営 Information

【理事会開催状況】

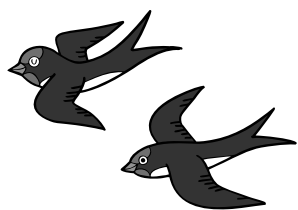
嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり理事会を開催しました。

第18回理事会

開催日 平成20年2月28日(木)

【議案第39号】
評議員の選出について

【議案第40号】
収益事業の廃止について



第19回理事会

開催日 平成20年3月21日(金)

【議案第41号】
平成19年度第2次補正予算について

【議案第42号】
平成20年度事業計画および
収支予算について

【議案第43号】
定款及び諸規程の改正について

【報告第13号】
人事異動について

新評議員紹介

3月1日に評議員が改選されました。

(任期:平成20年3月1日から平成22年2月28日)

選出区分	氏名 <small>敬称略 順不同</small>	選出区分	氏名 <small>敬称略 順不同</small>
支部代表	(稲 築) 越岡 加代子	社会福祉に関する活動を行なう団体	長岡 秀子
	(稲 築) 原田 和代		和田 秀美
	(碓 井) 仲島 隆生	民生委員・児童委員	山下 和代
	(碓 井) 原 奈緒美	社会福祉施設	伊澤 靖
	(山 田) 島田 睦男	福祉サービス事業者	竹島 信江
	(山 田) 大和 義子	小中学校教職員	花村 謙一
	(嘉 穂) 篠崎 博保	高等学校教職員	佐藤 祐輔
	(嘉 穂) 山本 佐一郎	小中学校PTA連合会	加藤 結花
老人クラブ	橋本 利根	社会福祉行政関係者	田中 秀文
障がい者団体	横山 利恵子	地域福祉推進に必要な 主要な団体	東 美那子
女性団体	松岡 智子		
地域住民代表	松隈 勝久	学識経験者	森田 洋子

地域福祉推進委員会委員紹介

3月1日に、地域福祉推進委員会委員が改選されました。

各地区ごとに設置している地域福祉推進委員会は、その地区で生活している住民の視点で委員それぞれが地域の中にある福祉課題や情報を出し合い、その解決策を自由に話し合う場としての役割を持っています。

この度、下記選出区分に基づいて、各地区の委員が選出されましたので、お知らせいたします。

(任期:平成20年3月1日～平成22年2月28日)

敬称略・順不同

選出区分	稲築地区	碓井地区	山田地区	嘉穂地区
地域住民組織の代表	富崎 孝	○組坂 英昭	◎村上 曙生	○篠崎 博保
	長岡カズ子	藤中 孝幸	○島田 睦男	山本佐一郎
民生委員・児童委員	原田 和代	江藤 司	大和 義子	柿坂ハツ子
ボランティア活動・市民活動団体	◎大山 博之	坂田 雅量	下川 明世	伊藤恵美香
	山下 和代	山元百合子	赤間 秀人	永尾富久美
当事者団体・組織	西野眞奈美	原 奈緒美	穴井 義雄	野見山淳子
	渡辺美千代	坂口 陸海	浜野 美雪	江藤 兆司
女性団体・組織	○越岡加代子		笹尾 栄子	上村 房子
児童・青少年関係	中並 美潮	仲島 隆生	尾田 卓夫	田子森アヤ子
高齢者関係	永水 正弘	◎竹島 寿男	筒丸 坦	◎大里 輝親
		永井 信江		

◎ …委員長

○ …副委員長

コラム 交差点

「斉藤さん」という、ちよつと変わった番組名のテレビドラマが話題になりました。

主人公の斉藤さん(幼稚園児

の母親は、理不尽なことや筋が通っていないことが大嫌いで、相手がどんな地位や立場であろうと、おかしいと思ったら真正面から「物申す」という性格の持ち主。最初は、「ちよつと変わった人」と煙たがられるのですが、次第に幼稚園や地域でかけがえのない存在となっていくという展開です。

なぜ、このドラマが人気だったのか。それは、斉藤さんが、仮面ライダーやウルトラマンなどと同様の「ヒーロー」だからではないでしょうか。視聴者は「斉藤さんみたいな大人になりたい」と、憧れるのだと思うのです。

数ヶ月前、私は職場近くの駐輪場で、昼間堂々とたばこを吸う、明らかに未成年と思われる女性と目が合いました。女性ということもあってやや度肝を抜かれ、何も見なかつたふりをしてその場を足早に立ち去りました。もちろん、私は彼女を知りません。その光景がしばらく頭から離れず、なぜ自分は目をそらしたのかと考えていました。

5月から、たばこ購入のための成人識別カード「taspo(タスポ)」が自動販売機に導入されます。未成年者の購入(喫煙)を防止するためだそうです。このシステムの導入によって、未成年がたばこを吸わなくなるのでしょうか。未成年の喫煙は法律で禁止されているので、大人がなぜダメなのかをきちんと説明でき、「いけないことだよ」とはつきり注意することができれば、それで済む問題だと思うのですが…。

とはいっても、私も言えない大人のひとり。皆さんのまわりに「斉藤さん」はいますか？



(前)

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

2月16日～3月15日各支部受付分

●山田

【香典返し】

(熊ヶ畑第三)

親族 大田 直文様
故 大田 シモ様

(百々谷)

親族 大塚 美代子様
故 大塚 拓生様

(天神)

親族 諫山 テル子様
故 諫山 一政様

(筑紫)

親族 竹中 一男様
故 竹中 貞子様

(西川)

親族 友清 辰美様
故 鶴川 サカエ様

(中央)

親族 三船 正尚様
故 三船 静子様

(三菱第一)

親族 西 恭子様
故 西 嘉之助様

(蛭子)

親族 山崎 光正様
故 山崎 ツユ子様

(石ヶ崎)

親族 松岡 等様
故 松岡 トキエ様



●稲築

【香典返し】

(藤見台)

親族 高川 日出男様
故 高川 悦代様

(枝坂)

親族 田本 勝美様
故 田本 聖一様

(漆生本村)

親族 西野 貞幸様
故 西野 忠忠様

(山野第一)

親族 白川 秀誠様
故 白川 誠様

(鴨生町)

親族 内田 キクエ様
故 内田 作市様

(平第二)

親族 山下 英一様
故 山下 信子様

(鴨生町)

親族 山本 ミユキ様
故 山本 久様

(一般寄附)

牛隈 嘉穂の名水愛好者一同様
銭代坊 野間 富様

(茶葉)

漆生本村 匿名様
緑ヶ丘 匿名様

(入浴剤)

平 東 井下ツギ子様
平 東 国武ミツヨ子様

(古切手)

鴨生第二 馬場五十鈴様
グラントベルズ飯塚様

【リングプル】

稲築志耕館
高校 様



【子育てリユース】

漆生南部 茅島 良二様

●碓井

【香典返し】

(飯田)

親族 鶴 千頭様
故 鶴 マツ様

(親族)

親族 茅島 武彦様
故 茅島 一枝様

(親族)

親族 小石 英明様
故 小石 哉都美様

(下白井西)

親族 田中 一幸様
故 田中 チカノ様

(西郷)

親族 平塚 郁男様
故 宮崎 學様

(出川)

親族 和田 美代子様
故 和田 久人様

(子育てリユース)

神 幸 馬場万里亜様
嘉穂才田 児玉 清美様
石ヶ崎 渡邊美千代様
口 春 崎村加代子様
藤見台 迫 禎子様
さくらが丘 山崎 敬子様

【アルミ缶】

六四田 松田 敏雄様
下白井東 匿名様

●嘉穂

【香典返し】

(大隈)

親族 渡邊 順子様
故 渡邊 刀美乃様

(上町)

親族 藤木 勉様
故 藤木 正男様

(下牛隈)

親族 林 美智子様
故 林 秀一様

(嘉穂才田)

親族 福山 三八子様
故 福山 ヤス子様

(大力)

親族 上野 武夫様
故 柴田 キクヨ様

(東馬見)

親族 鎌田 瑠璃様
故 鎌田 光輝様

(親族)

親族 秋山 宣博様
故 秋山 ハツミ様

【リングプル】

下牛隈 川原 咲様
大隈 小学校 様

(古切手)

中 益 浦田 美香様
匿名 名 様

あなたの会費が、社協の地域活動を支えています。

会員として、次の方々にご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

2月16日～3月15日受付分

● 山田地域

〔個人会員〕

〔熊ヶ畑第一〕大里喜久雄(二口)・大里京子(二口)・江藤久人・大里梶栄・大里優子・大里速・大里初男・大里恵・友田雅則・広瀬スズエ・財津吉美・大里ミツエ

赤崎恵美子

〔尾浦第一〕酒井リツ子・松本健三・松本由美子

〔尾浦第二〕市成ノブ子・松尾ヒサヨ・宮本サカエ

〔西川〕戸田キヌ子

〔本町〕渡辺保弘

〔下宮〕内橋正・内橋伸彰・大塚秀樹・本岡サナエ

〔木城〕大里英雄

〔大橋〕深町紀子
〔中央〕手島トメ子・手島晴海・縄田重子
〔蛭子〕大久保昌之・藤井春男
〔さくらが丘〕大庭敏之

〔三菱第二〕柴田俊夫・柴田礼子

〔ゆうひが丘〕川上光雄(二口)・木村富美子・筒井悦子・倉地勝子

光安悦子・永田国雄

〔中山田上〕大畑忠義・大畑美千代・新井義孝・新井藤子・広津幸子・吉塚茂・吉塚愛子

〔中山田下〕豊重子(五口)・山辺政枝

〔立石〕白石文代

〔新原〕足立信一

〔石ヶ崎〕竹田敏明

〔古河〕江藤シゲ子

● 稲築地域

〔個人会員〕

〔辻中籠〕大山薩子・大山静馬・今宮博美・土師定義・山平浩二・永水敏光・千代野一雄・大山フシ子・大山章・大山ハツ子・松岡幸夫・吉本キミ子・手島ミツ子・半田正市・田代一子・松岡教知・原部功・脇田洋・高木努・曾我忠・笹月守・草場静六・水上信子・広畑政勝・築地原英起・大山利美・大山時彦・曾我秀治・永水正弘(二口)・永水米蔵・永水元和・中條凌一・永水恭典・永水修一・松岡勝利・久家貞美・渡部正則・曾我キヨ子・曾我勝博・住吉ツルエ・

常藤文子・平田優男・島田三郎・鷹取一美・田中徹・土谷勝典・上

提政明・坂田和久・永水幸子・加

地正則・常藤哲次・山口三郎・小

林サツキ・穴見英徳・篠崎賢豪・

緒方宏蔵・永水義明・小林喜之・

永水登美子・中並隆・永水秀一・

永水信・中並美潮・永水敏親・米

原太輔・田上義雄・手島隆子

〔新山野〕藤川輝男

〔鴨生町〕東イソ・梶原謙蔵・香

月孝子・三村一夫・高木ハツ子・

森田正子・越岡幹雄(三口)・村

上富美子

〔枝坂〕佐井美佐子

〔錢代坊〕百口

● 嘉穂地域

〔個人会員〕

〔下牛隈〕畠中亨・畠中明美

〔泉河内〕内田範重

● 市外会員

〔法人会員〕

〔川崎町〕長弘商店



嘉麻市社会福祉協議会指定
〔葬祭場紹介〕

- 24時間承ります。もしもの際はいつでもお電話ください。
- ご予算に合わせて執り行えますので、ご心配いりません。

嘉麻市社協
指定葬祭場
ご利用方法

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします。」とお伝え下さい。葬祭にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



おかむら葬祭
岡村会館
嘉麻市平1133
☎(0948)
42-4420

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭岡村会館を含め、市内に7ヶ所あります。

- 飛鳥会館 南斎場…………… ☎ 0948-42-4241
- きど葬祭 やまさ碓井斎場… ☎ 0948-62-4499
- いすや会館…………… ☎ 0948-57-4444
- セレモニーホールおおつか… ☎ 0948-52-1212
- かほ葬祭あじさい会館………… ☎ 0948-62-5566
- 善光会館稲築会場…………… ☎ 0948-83-5000

知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 No.12

おかむら葬祭
今回ご回答頂くのは… 岡村勝子さん



Q. 妊娠五ヶ月です。妊婦は、通夜や葬儀などの弔事に行かない方がよいと聞きましたが、もしもの場合、どのようにすればよいのでしょうか？

A. 親族の方と相談し、ご自分の体調がよければ、出席してもよいのではないのでしょうか。しかし、その日の気分がよくなければ、後日にでも自宅を訪問しお悔やみしてもよろしいかと思ひます。

我が青春のふるさと

私が碓井町平山明治

二坑へ、大分県より移り住んだのは、昭和25年5月小学校4年の時でした。6軒続きの社



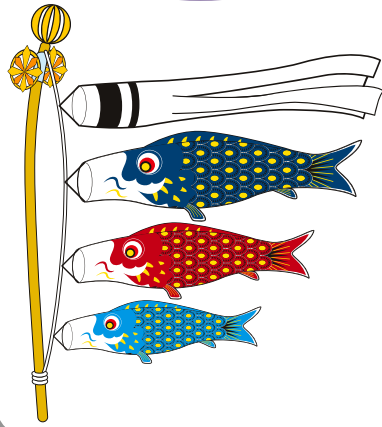
大分市在住
佐藤 新さん(67才)
平山出身

宅が各町に数十棟建並び、大変な数の子ども達の歓声、坑内上りの男の真黒い顔、大繁栄の時代で、とても言葉では表現できません。学校もほうぼうの炭坑から生徒が集まりますので、机が教室中に在りました。脱脂粉乳の給食、道草しながらの帰路、中学時代も悪坊主連中と大いに自然の中を、駆け廻りました。高下駄での通学、運動場のボタ石拾い、先生方の愛のムチ、運動会、遠足、町並み、長谷山、高校通学時の臼井駅の混雑等々、私は10年近い青春を碓井町で過ごしました。

碓井町を離れ10数年後に訪れた時、何もかも一変し驚きの一言でした。昭和34年飯塚商業卒業ですが、石炭景気も加減気味になり当地での就職が無く、大分県臼杵市のF醤油博多支店、筑豊担当見習として入社、会社員に馴れず退社、20才の時に大分市の看板店へ弟子入りしました。この世界も、決して甘いものではありませんでしたが、15年後に、後継者となり現在に至っている次第です。

近年、あらゆる職業のコンピュータ化のため、職人の必要も本当に厳しくなりましたが、まだまだ現役で頑張りたいと思っています。懐しい碓井町、恩師、友人の方々、再会を楽しみにしています。

5月の総合相談



法律相談

- 1回目
と き: **5月1日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **山田ふれあいハウス**
- 2回目
と き: **5月15日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **稲築住民センター**

心配ごと相談

- 1回目
と き: **5月14日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**
- 2回目
と き: **5月28日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**

会場案内

心配ごと相談は、毎月第2・4水曜日に稲築住民センターにて開催します。法律相談(無料)は、毎月第1木曜日が山田ふれあいハウス、第3木曜日が稲築住民センターです。法律相談は予約が必要です。お早めにお申込みください。

- 山田ふれあいハウス(☎53-0838)
- 稲築住民センター(嘉麻市社会福祉協議会 ☎42-0751)

ヤマシ리즈 炭鉱の記憶 NO.13



鹿田則光さん
72歳
(飯田在住)

昭和32年、直方の資源技術試験所に入社した鹿田さんは、翌年に旧碓井町の西郷試験炭鉱に配属になりました。試験炭鉱とは、石炭採掘が目的ではなく、採掘時における事故を防ぐ方法を研究したり、事故を未然に防ぐための実験をしたりする場所です。鹿田さんは炭じん爆発防止の実験・坑内火災実験などに従事していたそうです。「振動や騒音が原因で炭じん爆発実験を、中止せざるを得なくなったので、試験坑道坑口を延ばす拡張工事をした時が一番大変だった。設計担当をしていたが、工事期間が短く徹夜になることもあったので、精神的にも体力的にも限界まできていた」とつらかった当時を振り返ります。

西郷試験炭鉱では年に一度、ガス・炭じん爆発事故や火薬事故などの一般公開実験を行っていたそうです。実験は平成11年の閉鎖をするまで計50回行われ、炭鉱が盛んだった頃は千人を超える見学者が訪れて、他の炭鉱職員の教育の場となり、また一般の方には事故の恐ろしさを知る機会となったのです。

22歳から定年までの38年間、炭鉱一筋に働き続け感じたことは「何の事故でも当てはまることだが、決められた規則は必ず守るということ。慣れてくるとだんだん忘れてくるものだが、手抜きをしないで原点を忘れないでほしい」と自分の経験を生かして皆さんに伝えたいと話されます。

退職から10年後の平成18年、鹿田さんの長年の公務が評価され、瑞宝小綬章を受章されました。「思いがけない話でびっくりしましたが、今までのことが認められたようで感無量でした」と、喜びを語ります。現在は飯田区のお世話や、趣味の園芸など多忙な毎日を送りながらも、充実した日々を楽しんでいます。